

平成29(2017)年1月1日

第36号

早稲田大学

武蔵野稲門会報

WASEDA BEAR
©2000 WASEDA UNIVERSITY

発行 武蔵野稲門会

〒180-0021

武蔵野市桜堤2-13-1-226

諸江 昭雄

TEL 0422(54)0873



撮影 山下 倫一 (1971・商)

あけましておめでとうございます

 会長 もろえ あきお 諸江 昭雄 (1963・法)

武蔵野稲門会の会員のみなさま、明けましておめでとうございます。
ご家族、友人と新年の清々しい門出を祝い、或いはご旅行へと楽しい日々を送られておられることと拝察いたします。
武蔵野稲門会もお蔭様で旧年の諸行事はすべて無事に済ませることができました。これもひとえに稲門諸兄弟のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ここに会報紙面を借り、役員一同を代表して厚く御礼申し上げます。
さて、旧年から「楽しい武蔵野稲門会・オンリーワン早稲田」をモットーに、集まりでは後輩現役学生・ワセ女を中心に<女性ファースト>のアトラクションを組んでみました。早稲田には現役、OBを問わずスポーツ、音楽、ダンス等、達人が多く、事業委員会はこれからも校友の星を招請してくれると思います。
一方、親睦の柱である同好会も世話人の精力的な活動で勢いが出て参りました。二つの新しい同好会が生まれ、同好会は15に増えました。全体行事も新規活動企画委員会がバス旅行を成功させ、今年も3月にバス旅行を予定しています。これら同好会の日程を調整する為世話人会を発足させました。嬉しい忙しさです。
渉外委員会は近隣稲門会との交流拡大に努め、三多摩に加え、23区杉並、練馬との種々のジョイント同好会も活発になりました。これからも早稲田大進撃！にご協力ください。
それでは、1月15日の新年会でお目にかかりましょう。 感謝合掌

「平成29年（2017年）武蔵野稲門会 新年会」のお知らせ

下記の通り行います。新年を祝って乾杯いたしましょう。

記

1. 日時 平成29年 1月15日（日） 13:30—（受付開始13:15）
2. 会場 武蔵野スイングホール（JR武蔵境駅 北口前）11階 レインボーサロン
3. 会費 5,000円

詳細は同封の別紙「新年会のご案内」をご覧ください。



随想「ふるさとの正月」



四国中央市 (愛媛県)

ほしだ ただし
星田 正 (1961・政経)

瀬戸内海のおだやかな自然に恵まれた故郷 愛媛県四国中央市に昭和11年12月31日に誕生。時まさに大晦日に産声を上げた為、誕生日の祝いは元旦と一緒に「おめでとう」。幼少時代は豊かな山や海の幸に囲まれ、野山を駆け巡る日々であった。早くから泳ぎを覚えたらしいが、3歳の時、川に溺れあわやの際に2歳年上の兄に助けられたという。おかげで生涯兄貴には頭が上がりな羽目となる。夏には朝早くから海へ出かけ、自分で作った水中鉄砲ややすを用いて好きなだけ魚を取り、海辺で塩焼きの食べ放題であった。春秋には、野山の果物がたっぷりあり、柿・ミカン・イチジク・枇杷・いちご・ぐみ等食べ放題であったのが懐かしい。

さてお正月は、暮に搗いたお餅入りの雑煮で始まる。当時の田舎では、親子でお屠蘇を頂く。その成果であろうか成人後の酒好きとあいなった次第。天気の良い日はすぐに凧揚げへ、これまた自分たちで作った自慢の凧をできるだけ高く上げる競争の中、糸きりと称してお互いの凧を落とし合う戦いもあった。カルタ遊びやベーゴマも盛んであったが、やがて少年野球が主流となる。田舎の三角ベースは、バットは杉の木を削り紙やすりで磨いたもの、ボールは木の丸い芯を糸巻きでぐるぐる巻き、グローブは母親の手づくり(落下傘の布?)であった。

終戦は小学校3年生。教科書が真っ黒に塗りつぶされ、毎日自習時間が続く中、たまたま師範学校卒の音楽が好きな先生に会い、アコーディオンを肩にして毎日音符読みの練習に明け暮れ、勉強はそっこのけのおかげで音楽が大好き少年となった。



隠岐の島 (島根県)

いけだ ひろはる
池田 宏治 (1967・商)

隠岐の正月、と言っても昭和30年、私が小学生だったのが家の年始めの記憶である。元旦の朝目が覚めると枕元に正月に着る洋服が置いてある。洗い晒しのいつもの服だが、きちんと畳んで置いてあるだけで普段と違う気分になった。庭へ出て井戸水を汲み上げ顔を洗う。それから一人でまだ薄暗い海沿いの道を春日神社へ初詣に行く。途中で近所の子に出会えば一緒に

行く。家族が揃って詣でるということはなかった。帰ったら客間の囲炉裏に家族が揃い年賀を言う。化粧をした母が割烹着姿で立ち働く姿は子供心にも眩しかった。ころ柿、かち栗を食べ父から年玉を貰う。50円だったか100円だったか。それがすむと台所の食卓に移り、屠蘇を飲み雑煮を食べる。雑煮は暮れに搗いた丸餅を煮てつゆをかけ、焙った岩海苔を振り掛けるだけ。野菜や蒲鉾などの具はなく雑煮とは言えない代物だがこれが旨かった。つゆはしょうゆ味でだしはあごと椎茸だったと思う。男の子は餅をたくさん食べて力持ちにならなければ駄目だと言われ六つ七つは食べた。これだけで腹一杯になり煮しめはあまり食べなかった。それが終わると居間でトランプや坊主めくりをする。普段は忙しくて一緒に遊ぶことのない母が加わるのがうれしかった。父についての記憶はあまりない。2日からは友達と遊んだ。

<一村の海穏やかに初日かな 宏治>

新会員自己紹介

表現することのむずかしさのなかで

たけうち ななえ
竹内 七枝 (1972・文)

二文英文科卒業後、主だった仕事は、先ず毎日新聞社事業部の美術・音楽部門での仕事でした。華やかな時代の新聞社主催の欧米の美術展開催に携わったことは、よい経験でした。

その数年後、縁あって英文毎日局編集部でフリーランスとして執筆、編集の仕事をし、傍ら早大文学研究科美学・美術史専攻で研修生として、「日本とフランスの近代美術史」を3年間学びました。取材がきっかけで出会った優れた美術家、新聞社の秀でたジャーナリスト、真摯に研究を積まれる大学の先生方、こうした多くの出会いは、私にとって今日に至っても消えることのない宝であり、私の周りの世界を大きく膨らませてくれました。

しかし、いづれも中途半端でした。ある時から、取材したり、論文を書くよりは表現者になりたいと思うようになり、銅版画を始めました。硬い銅の版に描き込むのは、思うようには行きませんが、私が思ったのに近いものが、印刷機から刷り上がって来る時、何事にも変えがたい喜びがあります。その瞬間、日常の苦が吹き飛んで行きます。



堀 法律事務所

弁護士 堀 裕一

(1980年法学部卒。第二東京弁護士会所属)

弁護士7名在籍。医学博士やマンション管理士でもある弁護士もおります

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-23 虎ノ門東宝ビル 6F・7F
TEL(代表) 03-6206-1022 FAX 03-3500-1013
Email: hori@hori-laws.jp http://hori-laws.jp

不動産の売買・賃貸・管理・リフォーム

都知事免許(12)23754

株式会社 アコー

代表取締役 滝本 尚男

(1963年法学部卒)

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-11-22
(中央線「武蔵境駅」北口本町通りアコービル1F)
TEL 0422-51-3050 FAX 0422-51-3057

納涼会

たさか ただとし
田坂 忠俊 (1974・政経)

9月3日(土)武蔵境駅前「武蔵野スイングホール11階レインボーサロン」にゲストを含む74名が集まった。司会は酒井幸会員。諸江昭雄会長から開会の挨拶。続いて協力戴いた近隣稲門会の方々の紹介、招待学生、新会員の紹介と進行し、アトラクションはベリーダンス。「スタジオリージーズ」ダンサー3人による世界最古の華麗な踊りに、一同酔いしれた。懇親会は、片岡冬里会長代行の司会。星田正常任幹事による乾杯。寺内会員夫人の実家から届いた日本酒「直実」が更に会を盛上げた。早稲田祭実行委員会久保田君挨拶。同好会世話人の現況報告の後、駆けつけた土屋正忠代議士、近隣稲門会の方々からご挨拶、公務で欠席した邑上守正市長の祝辞を紹介。「納涼の宴」は、諸江会長の渾身のリードによる「紺碧の空」と、豪快な野本好朗常任幹事のリードによる校歌斉唱でお開き。参加者の集合写真撮影後散会となった。



<新規活動企画委員会>

長野県南佐久郡川上村(武蔵野市友好都市)訪問バスツアーを開催

かたおか とうり
片岡 冬里 (1970・理工)

9月28日午前9時、武蔵野市の友好都市長野県川上村へ向け、参加者24名を乗せたバスは三鷹駅北口を軽やかに出発。途中北杜市にてサントリー白州蒸留所を見学、試飲のモルトウイスキーにほろ酔い気分一路川上村を目指す。同村役場に到着、一時絶滅寸前となった野生種「川上犬」の保護・育成施設を見学、その凛々しい姿を後にして、「武蔵野市立自然の村」へ。1,700mの高原地帯、自然に囲まれた宿泊施設での夕食を兼ねた遠慮無用の懇親会は深夜まで盛れる。翌朝は一路上田方面へ。途中の「無言館」、若き戦没画学生の遺作・遺品を前に皆言葉なく、彼らの無念を偲んで涙腺が緩む。上田市内での昼食会、上田稲門会の西田不折会長、土屋陽一副会長に温かく迎えて頂いた。愈々旅の終りのクライマックス、上田城址と真田丸大河ドラマ館を訪問。手段を選ばず、有りりとあらゆる策謀、戦略を駆使して戦国を生き抜いた真田一族の姿が次々と脳裏に甦る。



平和祈念献花式

もろえ あきお
諸江 昭雄 (1963・法)

10月23日第51回稲門祭・ホームカミングデーは快晴に恵まれました。

午前9時から早稲田大学主催(早稲田大学出陣学徒の会共催)により「平成28年度平和祈念碑献花式が「平和の碑」前で執り行われました。今年も、音羽護国寺の大隈重信侯墓参を終えた鎌田総長、大隈家代表、奥島元、白井前各総長が列席し恒例の献花、黙祷を捧げました。武蔵野稲門会からも10名が参列しました。



「平和の碑」

西原春夫元総長が総長時代に建立されたもので、不条理な先の大戦で戦没した校友たち、卒業生、学生、教職員4,700余名を慰霊している。

大隈庭園と大隈講堂に挟まれ大隈ガーデンハウスに向かう通路の右側にある。

稲門祭 サロン・ド・三多摩

すずき たけし
鈴木 武 (1978・理工)

汗ばむくらの爽やかな天気、こちら「サロン・ド・三多摩」では早くも栗アイスや梨は完売。狛江の地ビールに福生の日本酒、小平からはブルーベリー等々、三多摩色たっぷりの品揃えで、三多摩各稲門会員と共に我々も張り切って販売しました。

すぐ傍の特設ステージから聞こえるフラダンスやジャズバンドに負けじと、我がテント前ではいつしか「紺碧の空」が…。この一体感はたまりません。来年もまた稲門祭で大いに盛り上がりたいと思います。



家族葬専門葬儀社 のもと祭典

代表 野本 好朗

(2011年文学部卒業)

〒181-0002 東京都三鷹市牟礼2-9-8-101
TEL 0422-57-7876 (24時間365日受付)
ホームページは「のもと祭典」で検索!

同好会報告 (1)

第2回 みんなで歌おう会 開催

たぐま たろう
詫摩 太郎 (1966・理工)

9月13日、第2回「みんなで歌おう会」を催行した。場所は前回と同じJR武蔵境駅近くの喫茶店コリウス。武蔵野会員と他稲門並びにそのご家族友人など、大勢の方々にご参加いただいた。今回はTV番組「BS日本こころの歌」で活躍中の人気ピアニスト南雲彩さんを招いて伴奏をお願いし、世話人詫摩太郎の司会進行により、懐かしい日本の童謡、世界民謡、シャンソン、歌謡曲など、参加者が歌いたい曲をリクエストし、それをみんなで歌った。自ら積極的に前に出てきて歌う者、ハーモニカを演奏する者なども加わり、更には南雲彩さんの素晴らしいトークとピアノ独奏、アルト歌手詫摩美恵子の歌などが花を添えた。最後は校歌を全員合唱し、「今日の日はさようなら」で閉会となった。2時間があったという間に過ぎて、参加数は前回は上回り、終了後は有志が二次会に流れ、みんなで祝杯を挙げた。

次回は1月31日、更にレベルアップした楽しい会にしたい。

第12回 江戸散策の会—忠臣蔵の聖地泉岳寺とその周辺

とうで しげゆき
東出 重幸 (1957・法)

10月11日10時 白金高輪駅を出発し、泉岳寺を中心に高輪、三田地区を巡った。旧熊本藩細川家によって300年も当時のまま保存されている“大石良雄他16名の忠烈の跡”では鬼気迫る強い印象を受けた。続いて赤穂義士の処分に係った荻生徂徠の墓がある長松寺から江戸三味線の始祖石村近江が葬られている大信寺を尋ねた。江戸名所図絵に描かれている魚籃寺では本堂で、住職から本尊や四天王を中心に説明をいただいたのち泉岳寺を目指した。ここでは中門、山門や大石内蔵助銅像などの説明もそこそこに赤穂浪士墓地に入った。墓地内右奥に浅野内匠頭の墓、その手前には一際立派な瑤泉院の墓があった。義士の墓は預け先、細川、毛利、水野、松平の四家ごとに整然と並んでいた。徳川幕府は義士たちの主君に対する忠節を認め、義士切腹のあと直ちに普請方を出してここに手厚く葬った。今回は参加者のこの企画に対する関心も深く大変有意義なツアーであった。参加者 30名。



第5回 温泉と景観を楽しむ会—紅葉の四万温泉

なかやま みよこ
中山 美代子 (1966・法)

10月21日、22日 一行6名で群馬県の四万温泉に行きました。宿は老舗の名湯「田むら」茅葺の堂々たる本館、10万坪の広い敷地を持ちその中に滝が5つ、遊歩道も整備されています。特急草津号で昼頃に中之条に着き路線バスに40分程乗って四万温泉に到着。想像していたより大きな温泉街でした。敷地内の滝見物を楽しみにしていましたが、旅館の人に冬眠前のクマが出る、ヘビも出て巻きつかれる、と言われ諦め、日向見川に沿って1時間半程ウォーキング、途中足湯にも浸かりました。今年は暖かくて紅葉はまだ3割位でした。館内もとても広く趣の異なる6か所のお風呂(うち一つは混浴)があり食塩泉(ナトリウム、カルシウム等)、湯出量は毎分1600リットル。廊下がくねくねと曲がっていて風呂場を巡るのにも一人では怖いくらいでしたが、全員温泉を堪能いたしました。



翌日は車でコバルトブルーの四万湖四万ダム(今年は水量が少ない)水のきれいな甌穴などの観光スポットを巡りました。

第2回 写真同好会 撮影会

もぎ たつしろう
茂木 達四郎 (1961・法)

今回は10月12日神田下町景色探索へ。御茶の水アーチの聖橋をスタート湯島聖堂へ。この地一帯は日本教育の発祥地区。幕府の昌平塾時代から明治に入り東大、お茶大、教育大がここで発祥。湯島大聖堂は綱吉が孔子廟として作り、8m孔子像や孔子に因んだ巨大な十数本の楷の木が見事。続いて江戸日本橋地区の総氏神の神田明神へ。初詣で、節分、神田祭には神田界限の人々が必ず参詣する聖地だが、近年は秋葉原に近くアニメのラブラブの聖地にもなり、絵馬も「商売繁盛、幸福祈願」よりもアニメがらみが多く、江戸から平成のパワースポットになっている。続いて銭形平次で名高い明神下の町屋や老舗街を抜け、レンガ造りアーチの昌平橋経由で最近JRが再構した万世橋エキュートへ。万世橋駅は明治に神田と御茶の水の間に造られたレンガ造りの駅舎、中はモダン商店街。近隣ビルもレンガ色にコラボし神田川に映っていた。



撮影 中山美代子



撮影 茂木達四郎

食事とお酒

カヤシマ

佐藤 孝一 (1981年商学部卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-9

吉祥寺第一ホテル前

Tel 0422-21-6461

http://www.e-kayashima.com

お客様の一生の思い出づくりをサポート!

車東人 **武蔵境** **教習所**

東京都公安委員会指定

運転免許から各種講習、車の購入までお任せください

ケータイ対応 イコー ム サ シ カイ

0120-15-6343

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-6-43

同好会報告 (2)

もっと早稲田を応援する会—早慶戦祝勝会と忘年会

かわさき だいはち
川崎 大八 (1967・理工)

10月30日 勝てる確率の高い日曜日に変更したのが奏功して早稲田は石井主将の本塁打、竹内の適時打により2-1で勝った。寒いし、慶応 加藤に前日押さえられて優勝の目が無くなったため当日のキャンセルが何件もあった。我々(上条、福田、川崎)は吉祥寺駅に集合し、神宮球場に向かい、ネット裏でホットワインを飲んで体を温めながら観戦した。途中から山口さんが見え、小美濃さんも一緒だったが途中で帰った。帰路は、早慶戦の勝敗の余韻を感じるので勝つのと負けるのでは気持ちが全然違う。今回は勝って良かったとしみじみ感じた。戎ビアホールでの忘年会は30分繰り上げて4時半から始めた。5時には茂木、高橋、千田、諸江、片岡、吉井、轟、小野沢氏が集まった。早稲田と野球やラグビーの好きな会員の集まりだから昔の六大学の選手の名前が話題になったが、出身高校だけでなく中学まで知っているという人の話を聞いてびっくりした。ラグビーは来週帝京戦だが夏の菅平では前半は勝ったという。強くなってきたようだ。ただ、慶應、明治も強いので予断を許せないとのこと。早稲田出身と言うだけでこのような楽しい集まりが出来るのは幸いだ。



第37回 武蔵野稲門会ゴルフコンペ

いけだ ひろはる
池田 宏治 (1967・商)

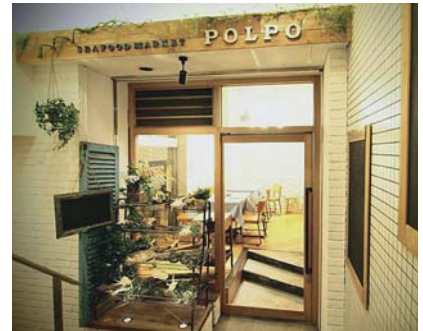
第37回武蔵野稲門会ゴルフコンペは11月11日(金)、紅葉が見頃の名門青梅ゴルフ倶楽部で開催された。高速道路の事故に伴う遅参で3名が止むなく棄権(後半の9ホールのみプレイ)、残る14名による新ペリア方式による競技となった。小雨が降り気温も低いあいにくのコンディションであったが、結果は池田宏治がネット72(グロス88)で優勝、2位 山本好さん、3位 細川能夫さん、ベストグロは渡辺吉章さんが87で獲得した。懇親会は従来地元吉祥寺に帰って行ってきたが今回からゴルフ場で行うことに変更、メンバー梅沢正春さんと幹事 堀裕一さんの計らいでアルコールが飲み放題となり、ゆったりと飲みかつ語り、懇親の実を上げることが出来た。今回は会員の新規参加に加え、近隣の稲門会や三田会からの参加もあり今後の当コンペの新たな発展を予見させる賑わいとなった。



若手の会

ほり ゆういち
堀 裕一 (1980・法)

10月13日(木)若手の会を開催しました。場所は、会員志村一篤さんの2号店、「吉祥寺シーフードマーケット ポルポ」です。いせや総本店の隣のビルの地下1階と分かりやすい場所にあり、店内は、白壁とウッドベースのお洒落な雰囲気。何より良いのが地下だということに天井が大変高く、かなり開放感があることです。料理の内容は、水産会社とタイアップしており、海のものを中心。19:20頃店に着いたのですが、既に海宝、近藤両氏が酒宴を開いており順次、根本さん、山口さん、平野さん、斉藤さん、菱田さんが到着。勿論、店を軌道に乗せるべく頑張られている志村さんもおられました。22:30迄楽しく語りました。店は最大50名入るそうで、団体も集客したいとの志村さんの意向です。会員の方々も是非 何かの折にいらして欲しいです。次回は12月15日、予定通り第三木曜日、「カヤシマ」で行います。



三水会

かたおか とうり
片岡 冬里 (1970・理工)

たさか ただとし
田坂 忠俊 (1974・政経)

10月19日、定刻の18時過ぎ、戎ビヤホールの奥の部屋、轟先輩(元武蔵野稲門会会長)の発声にて一同元気良く乾杯、国立稲門会会長の扇田正俊氏、今回初参加の小平稲門会馬場正彦氏のお二人に挨拶をして頂く。お二人のご挨拶で宴はさらに盛り上がり、いつの間にか、総勢24名で満席大盛況となる。最後に遅れて駆けつけた稲門祭の奨学金記念品本部長(校友会組織委員長)の大島正敬氏が、間近に迫った稲門祭への参加を呼びかけ、記念品販売のノルマ達成への協力を仰ぐ。続いて、「もっと早稲田を応援する会」世話人の川崎大八氏が、これもまた間近に迫った野球の早慶戦を熱く語り、皆へ参加を呼びかける。最後の校歌斉唱は久しぶりに片岡冬里氏、腰痛を堪えて1番をリード、続いて諸江会長が2番、3番をリード、しっかりと会を締めくくった。二次会はいつものアイリッシュパブ、参加者7名がいつもの席を悠々と占め、ギネスビールで血中のアルコールを清めつつ余韻を楽しんだ。



むさしのFJ司法書士法人

代表 山本 好 (1970年法学部卒)

事務所

〒180-0022 武蔵野市境2-14-1 スイングビル603

電話 0422-60-5600

FAX 0422-60-5610

不動産登記 相続遺言 簡易裁判所代理 家庭裁判所申立て

公園通り法律事務所

弁護士 酒井 幸 (1971年 法学部卒)

弁護士 酒井 圭 (2004年 商学部卒)

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-16 吉祥寺石井ビル2階

電話 0422-23-6162 FAX 0422-23-6163

e-mail : info@kouendori.com

HP : http://kouendori.com/ blog : http://kouendori.jugem.jp/

ご冥福をお祈りいたします

青木 恒男さん (1948・政経) 2016年 8月
秋山 陽さん (1943・商) 2016年10月

編集後記

カレンダーを新年のものに架け替えると、毎年のこととはいえ、気分も変わります。当会報も多少なりとも新年らしく、と考え会員の皆様のご協力により、表紙に富士山の写真、「正月」に関する「随想」などを掲載することができました。

当会の活動は同好会の活性化、近隣稲門会との交流などますます盛んになってきておりますが、今年には地元にならぬ仲間をふやしてゆくためにさまざまな広報活動も行っていきたいと考えております。皆様にとって本年が佳き年になりますようお願いしつつ。 徳田

川柳「稲穂会」

(二〇一六年九月六日、南町コミセン)

兼題「秋刀魚」

●七輪の 昭和レトロで 秋刀魚焼く 諸江昭旦

自由題

- 麻原も 離脱するとか 言ってたね 小美濃隆
- ナイジェリア 巖流島の手を使い 小坂 強
- 迷うのは人に非ずや 夏嵐 片岡冬里
- 支払うは 空き家にかけた 火災保険 田坂忠俊
- 納涼会 ベリーダンスに メタボ酔い 星田正風
- 赤穂義士六つ 個足りぬと 嘯きぬ 市川 毅
- リオからは 何とかなるさと 教えられ 太田資暁

俳句「稲穂会」

(二〇一六年十月十九日、本町コミセン)

- 裏木戸に松茸持参と 甥の声 源助 (橋本直樹)
- 一幅の名筆を前秋深し つよし (市川 毅)
- 秋晴や退院ならぬ 友見舞ふ 宏治 (池田宏治)
- 駅通り胸を反らして 赤い羽根 かづを (山口一夫)
- 天の父と 飲む伝手ありや 秋の空 隆慶 (川島隆慶)
- 鹿脅し 風流愛でて 一句あり 正風 (星田 正)

会費納入のお願い

平成28年度武蔵野稲門会費2,000円を下記郵便振替口座へお振込みください。
加入者名：武蔵野稲門会 口座番号：00150-8-190961

同好会／世話人

○テニス部会

月2～3回
立川 勲 090-5497-9954
松本 誠 090-3204-4355

○三水会

毎月第3水曜日 18時～
諸江昭雄 080-1060-7291
片岡冬里 090-9640-7202
谷内隆衛 080-6814-1868

○若手の会

偶数月の第3木曜日
堀 裕一 090-3212-0052

○囲碁(イナゴ)会

毎月第2、第4週の火曜日、中央コミセン
寺田昌弘 03-3928-8710

○ゴルフ(平野杯)部会

年2回(春・秋)
堀 裕一 090-3212-0052

○旅行部会・お花見の会

旅行部会:年1～2回
お花見の会:4月
鈴木 武 0422-47-9393

○カラオケ部会

奇数月の第4水曜日
18時～22時
山内 巖 0422-54-1475

○マーじゃん部会

偶数月の第2土曜日
松本 誠 090-3204-4355
牛込秀三 0422-54-8503

○もっと早稲田を応援する会

箱根駅伝、レガッタ、野球、ラグビー、など
川崎大八 090-6305-3275
諸江昭雄 080-1060-7291

○クラシック音楽同好会

年1回コンサートを開催
山本富士雄 0422-21-3950

○江戸散策の会

年2回(4月25日、10月11日)
東出重幸 080-1226-6554

○俳句・川柳の会

俳句「稲穂会」:偶数月第3水曜日
13:30-15:00
本町コミセン

星田 正 0422-53-5436

川柳「稲穂会」:3ヶ月毎
太田資暁 0422-20-1705

○温泉と景観を楽しむ会

年2回程度(1泊2日)
中山美代子 0422-22-8862
徳田直子 0422-43-2773

○みんなで歌おう会

詫摩太郎 0422-26-6690

○写真同好会

山下倫一 090-2626-2935
宮崎幸二 090-9005-8203

同好会入会お問合せは各世話人へ。詳細は、武蔵野稲門会ホームページをご覧ください。
<http://musashino-toumon.info/information.html> (注) 同好会ページが直接開きます。

虎ノ門カレッジ法律事務所

弁護士 福原 弘
(1969年法学部卒。東京弁護士会所属)

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1丁目1番23号 虎ノ門東宝ビル3階
TEL 03(3597)5755 FAX 03(3597)5770

公益社団法人 東京都不動産鑑定士協会会員

立川不動産鑑定事務所

代表・不動産鑑定士 立川 勲
(1964年法学部卒。東京簡易裁判所司法委員)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町3丁目7番16号
TEL 0422-22-3935
FAX 0422-22-3945
E-mail: isao.tachikawa@nifty.com
HP: <http://trea.jp>